

ワークショップコレクション in やまぐち2022における
COVID-19 感染拡大防止対策マニュアル



2022年9月 14 日策定

ワークショップコレクションinやまぐち実行委員会事務局
(事務局:山口県ひとづくり財団)

✉:yh-kengaku@hito21.jp ☎:083-987-1710

※このマニュアルは、展示会業界における COVID-19 感染拡大予防ガイドライン(2022年7月5日改訂)を参考に作成しています。

目次

1. 主催者が行う対策	2
計画・事前準備時	2
搬入出時	3
会期中	4
2. 出展者が行う対策	5
共通で行うべき対策	5
計画・事前準備時	5
搬入・搬出時	6
会期中	6
3. 来場者が行う対策	7

<用語定義>

用語	内容
主催者	ワークショップコレクション in やまぐち実行委員会
運営スタッフ	事務局（ボランティアを含む）及び運営委託業者のスタッフ
出展者	ワークショップを出展する団体等のスタッフ
来場者	ワークショップに参加する子ども及びその同伴者
入場者	会場内にいる運営スタッフ、出展者及び来場者の全ての者
室	出展ブースを設置する研修室等

1. 主催者が行う対策

□ 計画・事前準備時

- WEBでの事前受付システムを導入し、予定来場者数を事前に把握・準備。
- 事前受付時には個人情報登録が必要であること、入場時の検温とマスク着用、感染者発生時には感染経路特定等のため、最低限の個人情報を政府機関・自治体の要請により開示することがある旨を明示し、承諾を得たうえで受付。
- 来場者は、1日、2時間×2回（午前、午後）の完全入替制で実施し、会場内での昼食は原則禁止。（同一日で、午前・午後とも参加する方を除く。）
- 発熱・体調不良等の場合、来場及び入場を見合わせるよう周知。



- 全ての期間を通じ、運営スタッフは全員マスクを着用。
- 出展者・来場者全員にマスクの着用を周知。
- 運営スタッフは、こまめな手洗い、消毒液による手指の消毒を励行するとともに、毎日検温と体調の確認を行い、健康管理を徹底。また、出展者に対しても同様の取組の実施を周知。



- 会場内にサーモグラフィー等の機器を準備し、来場者を検温できる仕組み作りを実施。
- 受付など待機列が予想される場所には、スタッフを配置し、動線の確保、大声での会話を控え、換気や適切な距離を確保するよう声かけなどの対策を実施。
- 総合受付及び各室入口に消毒液を設置し、来場者に手指の消毒を義務付け。
- 受付・インフォメーション等の飛沫感染防止・接触感染防止について、アクリル板の設置や非接触型受付システムを導入し、スタッフと来場者の接触を削減。
- 会場内の各所に消毒液を設置し、来場者が自由に利用。





- 室内の換気をできるだけ実施。
- 出展者や来場者が密になりにくいよう、原則、1室に1出展者を割り当てるなど、収容人数や面積を踏まえて、通常より出展ブース毎の利用スペースについて余裕を確保。

- 出展者に対し、マスク及びフェイスシールドの着用、使用備品の随時消毒、感染防止に配慮したレイアウトの徹底を周知。
- 出展ブースの混雑状況をリアルタイムで表示するシステムを導入し、来場者に対し活用を依頼し、来場者を分散化。
- 2~3室に1名以上の運営スタッフを配置し、来場者に対する消毒や適切な距離を確保するよう、呼びかけを実施。
- 感染対策の役割分担、感染疑い発生時の対応手順や担当者、管轄保健所、感染相談センターの電話番号等が記載されているマニュアルを作成し、関係者に周知徹底。
- 出展者及び来場者は、県内企業、団体、個人等を想定し、イベントを実施。
- 出展ブースの設置は出展者自らが実施。また、会場内のデザイン等は現場作業に負担のかかるものは極力避けて実施。
- 県内の感染状況を踏まえ、開催の是非を判断。

□ 搬入出時

- 運営スタッフ及び出展者のマスク着用を目視確認、未着用者への着用依頼。
- 室内空気循環のため出入口の常時開放を徹底。
- 展示ブース設置中の密防止について、必要に応じ館内アナウンスを繰り返し実施。
- 会場内に、マスクの着用・手洗い・手指消毒の励行などの呼びかけを行う来場者向けのサインを設置。
- 各室入口などにアルコール消毒液を設置し、出展者及び運営スタッフに手洗いと手指の消毒を励行。

□ 会期中

- 入場者全員のマスク着用を目視確認、未着用者への着用依頼。
- サーモグラフィー等により入場者に対する検温を実施。
- 密注意、手指消毒に関するアナウンスを繰り返し実施。
- 来場者の受付は、原則、代表者のみ整列をするとともに、待機列では適切な距離を確保するようスペースをあけて並ぶことを徹底。(来場受付待機列管理)
- 室内空気循環のため、出入口扉を常時開放するとともに、運営・安全面での支障がない範囲で窓を開放。
- 来場者にマスク着用・手洗い励行などを促すサイン表示を受付入口などに設置。
- 出展ブース入口及び主催者が会場内に設置した休憩所等にアルコール消毒液を設置し来場者に手指消毒の徹底、頻繁な手洗いを励行。
- 定期的な見回りによる残量確認と補充及びテーブル・椅子などの清拭消毒を実施。
- 事前受付システム(感染発生時に必要な連絡先等を含む個人情報を取得)により発行したQRコードをタブレットで読み込み受付を行う方法を採用し、全来場者を把握するとともに受付時の作業を削減。
- 受付時に、来場者に対し各室の滞在時間(記名、入室時間、退室時間)を記入するカード(以下「滞在カード」という。)を配布するとともに、各室退室時に回収箱へ投函するよう依頼。(随時、運営スタッフによる投函協力を呼びかけ。)
- 新型コロナウイルス感染症疑い者の発生に備え、看護師が常駐。

2. 出展者が行う対策

□ 共通で行うべき対策

- 普段から健康観察アプリの活用や体温・体調の確認により健康状態の把握。
- 全ての期間（事前準備～搬出）を通じスタッフ全員にマスク着用を徹底。
- 以下の項目に該当する場合は参加を見合わせ、かかりつけ医などに適切に相談。

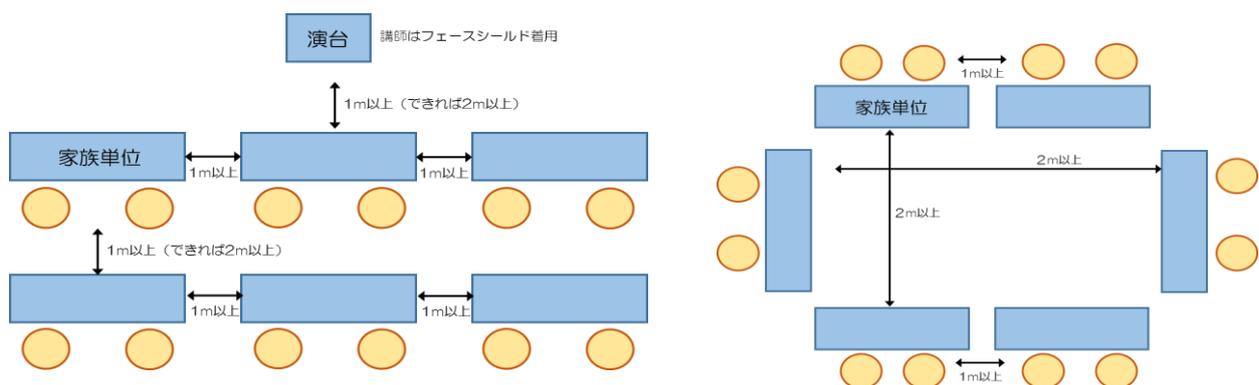
- ・発熱（37.5 度以上）、咳、咽頭痛などの症状や、体調がすぐれない
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ・新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との濃厚接触がある
- ・過去 5 日以内に緊急事態宣言の対象地域を訪問
- ・過去 5 日以内に政府の入国制限対象地域への渡航歴又は当該在住者との濃厚接触がある

※下線部の期間については、その時点で定められている観察期間とする。

□ 計画・事前準備時

- 出展ブースデザインにあたり、密を発生させるリスクを抑えるよう通常より余裕のあるスペースを確保。（1家族1長机、対面は人と2m以上の距離の確保、必要に応じて飛沫感染防止のためのアクリル板の設置などを徹底。）

※教室形式またはコの字、ロの字形式。コの字、ロの字の場合は、対面2m以上確保またはアクリル板の設置を基本。



□ 搬入・搬出時

マスク着用
アルコール消毒
ご協力お願いいたします



- マスク着用と頻繁な手洗いや手指の消毒を行なうよう徹底。
- 出展ブース設置時には、特にドアノブや棚、机、椅子の背もたれ、共有物品など人の手が触れるものを清拭消毒。
- 出展ブースで出たゴミは出展者において持ち帰るよう手配。

□ 会期中

- スタッフ全員のマスク着用の徹底。
- 特に来場者への説明役割を担うスタッフはマスクと併用してフェイスシールドの積極的な使用を推奨。
- 説明時なども含め大声での会話や呼び込みを自粛。
- 出展ブースにスタッフとして参加した者の日別名簿の作成。



- 出展ブース内の高頻度接触部位を毎日複数回清拭消毒。
- ワークショップに使用する机・椅子や物品などは来場者の入替え毎に消毒。

- 出展ブースの来客状況により、密な状況を作り出さないよう可能な限り配慮。
- 室毎の来客名簿が作成できるよう、来場者の入室時及び退室時に来場者に対し「滞在カード」の記入及び回収箱への投函を呼びかけ。
- ワークショップ実施後のスタッフの手指消毒を徹底。
- 終了予定時間になったら速やかにワークショップを終了し来場者に退室を促す。

3. 来場者が行う対策

- 当日の検温と体調の確認をし、以下の項目に該当する場合は参加の見合わせ。



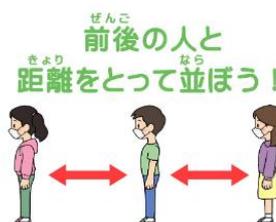
- ・発熱(37.5度以上)、咳、咽頭痛などの症状や、体調がすぐれない
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ・新型コロナウイルス感染症陽性と診断された方との濃厚接触がある
- ・過去5日以内に緊急事態宣言の対象地域を訪問
- ・過去5日以内に政府の入国制限対象地域への渡航歴又は当該在住者との濃厚接触がある

※下線部の期間については、その時点で定められている観察期間とする。



- 会場内ではマスクの着用と頻繁な手洗い・消毒を実施し、長時間、密になり得る状況を回避。

- 検温所(サーモグラフィー)での来場者全員の検温。
- 受付は代表者のみが距離をとって整列。
- 非接触型受付に必要な事前受付システムで発行されたQRコードを準備。



- ワークショップ時に利用する物品等に触れた場合はこまめに手指を消毒。
- ワークショップ時に大声で話すことは避け、人と人との触れ合わない間隔を確保するよう努める。

- 専用 HP(ワークショップリアルタイム表示)でワークショップの混雑状況を確認し、可能な限り密を回避。
- 訪問した室ごとに、受付時に配布する「滞在カード」に、「代表者氏名、入室時間、退室時間」を記入し、退室時に回収BOXへ投函。

